

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度 タブレット端末を活用した学習提示
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	サーキットをしよう
	授業の目標	・教師の支援で腕や体を動かすことができる。 ・映像を見て体操をすることができる。 ・順番を待つ、座って待つなど、簡単な約束を守って取り組むことができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他( )
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	■特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 ■小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 1. 2. 3年 8人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 ■知的障害 ■肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 ■自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 (特性・ニーズ)	■見る ■聞く ■話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する ■運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 ■社会性・コミュニケーション ■覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・視覚優位の児童や、状況の変化に応じて行動することが難しい児童が多い。 ・タブレット端末を使うことに慣れていて、興味がある児童が多い。 ・学習提示を行うことによって見通しをもつことができ、比較的穏やかに学習に取り組むことができる。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	【ハードウェア】 ・タブレット端末(iPod) 【ソフトウェア】 ・keynote(プレゼンテーション用アプリケーション)
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(■B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援( <input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) ・テレビやタブレット端末に興味があり、タブレット端末を使うことに慣れている児童が多い。 ・視覚的に学習内容を提示することにより、見通しをもつことができ、より主体的に参加することのできる児童が多い。
授業に授業展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	1 あいさつ 2 学習内容の提示 ・タブレット端末からテレビ画面に投影した学習内容を提示。 3 体操 ・テレビ画面に映し出された2つの体操から1つを選び、映像を視聴しながら体操をする。 4 サーキット運動 5 発表 
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	・学習内容をタブレット端末からテレビ画面に投影し、児童に伝えることで、見通しをもって活動に取り組むことができた。 ・約束や体操の見本など、印刷されたものを児童に提示するよりも、映像をテレビ画面を通して提示することによって、どちらの体操にしたいか、明確に意思を表示したり、模倣したりすることができた。